

# Borland VisiBroker™ 8.0 インストールガイド

Borland Software Corporation  
20450 Stevens Creek Blvd., Suite 800  
Cupertino, CA 95014 USA  
[www.borland.com](http://www.borland.com)

使用権の規定および限定付き保証にしたがって配布が可能なファイルについては、`deploy.html` ファイルを参照してください。

Borland Software Corporation は、本書に記載されているアプリケーションに対する特許を取得または申請している場合があります。適用される特許の一覧については、製品 CD または [バージョン情報] ダイアログ ボックスを参照してください。このドキュメントの提供により、これらの特許のいかなる使用権もユーザーに付与されるものではありません。

Copyright 1999–2006 Borland Software Corporation. All rights reserved.

Borland のブランド名および製品名はすべて、米国 Borland Software Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の商標は、その所有者に帰属します。

Microsoft、.NET ロゴ、および Visual Studio は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

サードパーティの条項と免責事項については、製品 CD に収録されているリリースノートを参照してください。

VB80 インストール ガイド  
2007 年 4 月

**Borland®**



# 目次

第 1 章		
<b>Borland VisiBroker の概要</b>	<b>1</b>	
VisiBroker の概要	1	
VisiBroker の機能	2	
VisiBroker のマニュアル	2	
スタンドアロンヘルプビューアからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス	3	
VisiBroker コンソールからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス	3	
マニュアルの表記規則	4	
プラットフォームの表記	4	
Borland サポートへの連絡	4	
オンラインリソース	5	
Web サイト	5	
Borland ニュースグループ	5	
第 2 章		
<b>インストールプラン</b>	<b>7</b>	
パッケージの内容	7	
システム必要条件	7	
JDK	8	
必要なディスクスペース	8	
ライセンス	8	
次の作業	8	
第 3 章		
<b>Windows への VisiBroker のインストール</b>	<b>9</b>	
インストールの準備	9	
JDK	10	
Borland VisiBroker のインストール	10	
インストールログ	13	
製品マニュアル	13	
VisiBroker for C++ サーバー、VisiTransact、または VisiNotify ライセンス変数の設定	13	
Borland product registration wizard	14	
ダイレクト登録	14	
電子メール登録	15	
Web ページ登録	15	
電話登録	15	
Borland VisiBroker のアンインストール	16	
第 4 章		
<b>Solaris への VisiBroker のインストール</b>	<b>17</b>	
インストールの準備	17	
JDK	17	
Solaris での VisiBroker CD のマウント	18	
Solaris での Borland VisiBroker のインストール	18	
インストールログ	21	
製品マニュアル	21	
GUI を使用しないインストーラの実行	21	
VisiBroker for C++ サーバー、VisiTransact、または VisiNotify ライセンス変数の設定	22	
Borland product registration wizard	22	
ダイレクト登録	23	
電子メール登録	23	
Web ページ登録	23	
電話登録	24	
Borland VisiBroker のアンインストール	24	
第 5 章		
<b>自動インストールによる VisiBroker のインストール (Windows と Solaris)</b>	<b>25</b>	
自動インストールの概要	25	
インストールの準備	25	
必要なディスクスペース	26	
JDK	26	
自動インストールの使用	26	
Windows での自動インストールの起動	26	
Solaris での自動インストールの起動	27	
自動インストールに使用するプロパティファイル	28	
Windows 用の自動インストールプロパティのサンプル	29	
Solaris 用の自動インストールプロパティのサンプル	29	
索引		<b>31</b>



# 第 1 章

## Borland VisiBroker の概要

Borland は、CORBA 開発者に向けて、業界最先端の VisiBroker オブジェクトリクエストブローカー (ORB) を活用するために *VisiBroker for Java*、*VisiBroker for C++*、および *VisiBroker for .NET* を提供しています。この 3 つの VisiBroker は CORBA 3.0 仕様 (COM と GIOP 1.3 を除く) の実装です。

### VisiBroker の概要

---

VisiBroker は、CORBA が Java オブジェクトと Java 以外のオブジェクトの間でやり取りする必要がある分散デプロイメントで使用されます。幅広いプラットフォーム (ハードウェア、オペレーティングシステム、コンパイラ、および JDK) で使用できます。VisiBroker は、異種環境の分散システムに関連して一般に発生するすべての問題を解決します。

VisiBroker は次のコンポーネントからなります。

- VisiBroker for Java、VisiBroker for C++、および VisiBroker for .NET (業界最先端のオブジェクトリクエストブローカーの 3 つの実装)。
- VisiNaming Service - Interoperable Naming Specification バージョン 1.3 の完全な実装。
- GateKeeper - ファイアウォールの背後の CORBA サーバーとの接続を管理するプロキシサーバー。
- VisiBroker Console - CORBA 環境を簡単に管理できる GUI ツール。
- コモンオブジェクトサービス - VisiNotify (通知サービス仕様の実装)、VisiTransact (トランザクションサービス仕様の実装)、VisiTelcoLog (Telecom ログサービス仕様の実装)、VisiTime (タイムサービス仕様の実装)、VisiSecure など。

## VisiBroker の機能

---

VisiBroker には次の機能があります。

- セキュリティと Web 接続性を容易に装備できます。
- J2EE プラットフォームにシームレスに統合できます (CORBA クライアントが EJB に直接アクセスできる)。
- 堅牢なネーミングサービス (VisiNaming) とキャッシュ、永続的ストレージ、および複製によって高可用性を実現します。
- プライマリサーバーにアクセスできない場合に、クライアントをバックアップサーバーに自動的にフェイルオーバーします。
- CORBA サーバークラスタ内で負荷分散を行います。
- OMG CORBA 3.0 仕様 (COM と GIOP 1.3 を除く) に完全に準拠します。
- Borland JBuilder 統合開発環境と統合されます。
- Borland AppServer などの他の Borland 製品と最適に統合されます。

## VisiBroker のマニュアル

---

VisiBroker のマニュアルセットは次のマニュアルで構成されています。

- *Borland VisiBroker インストールガイド*— VisiBroker をネットワークにインストールする方法について説明します。このマニュアルは、Windows または UNIX オペレーティングシステムに精通しているシステム管理者を対象としています。
- *Borland VisiBroker セキュリティガイド*— VisiSecure for VisiBroker for Java および VisiBroker for C++ など、VisiBroker のセキュリティを確保するための Borland のフレームワークについて説明しています。
- *Borland VisiBroker for Java 開発者ガイド*— Java による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。Visibroker ORB の設定と管理、およびプログラミングツールの使用方法について説明します。また、IDL コンパイラ、スマートエージェント、ロケーションサービス、ネーミングサービス、イベントサービス、オブジェクトアクティベーションデーモン (OAD)、Quality of Service (QoS)、インターフェイスリポジトリ、および Web サービスサポートについても説明します。
- *Borland VisiBroker for C++ 開発者ガイド*— C++ による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。Visibroker ORB の設定と管理、およびプログラミングツールの使用方法について説明します。また、IDL コンパイラ、スマートエージェント、ロケーションサービス、ネーミングサービス、イベントサービス、OAD、QoS、プラグイン可能トランスポートインターフェイス、RT CORBA 拡張機能、Web サービスサポート、およびインターフェイスリポジトリについても説明します。
- *Borland VisiBroker for .NET 開発者ガイド*— .NET 環境による VisiBroker アプリケーションの開発方法について記載されています。
- *Borland VisiBroker for C++ API リファレンス*— VisiBroker for C++ に付属するクラスとインターフェイスについて説明します。
- *Borland VisiBroker VisiTime ガイド*— Borland による OMG Time Service 仕様の実装について説明します。
- *Borland VisiBroker VisiNotify ガイド*— Borland による OMG 通知サービス仕様の実装について説明します。通知メッセージフレームワークの主な機能として、特に Quality of Service (QoS) のプロパティ、フィルタリング、および Publish/Subscribe Adapter (PSA) の使用方法が記載されています。

- *Borland VisiBroker VisiTransact ガイド* — Borland による OMG Object Transaction Service 仕様の実装および Borland Integrated Transaction Service コンポーネントについて説明します。
- *Borland VisiBroker VisiTelcoLog ガイド* — Borland による OMG Telecom Log Service 仕様の実装について説明します。
- *Borland VisiBroker GateKeeper ガイド* — Web ブラウザやファイアウォールによるセキュリティ制約の下で、VisiBroker GateKeeper を使用して、VisiBroker のクライアントがネットワークを介してサーバーとの通信を確立する方法について説明します。

通常、マニュアルにアクセスするには、VisiBroker とともにインストールされるヘルプビューアを使用します。ヘルプは、スタンドアロンのヘルプビューアからアクセスすることも、VisiBroker コンソールからアクセスすることもできます。どちらの場合も、ヘルプビューアを起動すると独立したウィンドウが表示されるため、このウィンドウからヘルプビューアのメインツールバーにアクセスしてナビゲーションや印刷を行ったり、ナビゲーションペインにアクセスすることができます。ヘルプビューアのナビゲーションペインには、すべての VisiBroker ブックとリファレンス文書の目次、完全なインデックス、および包括的な検索を実行できるページがあります。

**重要** Web サイト <http://www.borland.com/techpubs> には、PDF 版のマニュアルと最新の製品マニュアルがあります。

## スタンドアロンヘルプビューアからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス

---

製品がインストールされているコンピュータでスタンドアロンのヘルプビューアからオンラインヘルプにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- Windows**
- [スタート | プログラム | Borland VisiBroker | Help Topics] の順に選択します。
  - または、コマンドプロンプトを開き、製品のインストールディレクトリの `bin` ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。
- ```
help
```
- UNIX**
- コマンドシェルを開き、製品のインストールディレクトリの `/bin` ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。
- ```
help
```
- ヒント**
- UNIX システムにインストールするときの指定で、PATH エントリのデフォルトに `bin` を含まないようにします。カスタムインストールオプションを選択して PATH エントリのデフォルトを変更せず、PATH に現在のディレクトリのエントリがない場合は、`./help` を使用してヘルプビューアを起動できます。

## VisiBroker コンソールからの VisiBroker オンラインヘルプトピックへのアクセス

---

VisiBroker コンソールから VisiBroker オンラインヘルプトピックにアクセスするには、[Help | Help Topics] を選択します。

[Help] メニューには、オンラインヘルプ内のいくつかの文書へのショートカットもあります。ショートカットの 1 つを選択すると、ヘルプトピックビューアが起動し、[Help] メニューで選択した項目が表示されます。

## マニュアルの表記規則

VisiBroker のマニュアルでは、文中の特定の部分を表すために、次の表に示す書体と記号を使用します。

表記規則	用途
<i>italic</i>	新規の用語およびマニュアル名に使用されます。
computer	ユーザーやアプリケーションが提供する情報、サンプルコマンドライン、およびコードです。
<b>bold computer</b>	本文では、ユーザーが入力する情報を示します。サンプルコードでは、重要なステートメントを強調表示します。
[ ]	省略可能な項目。
...	繰り返しが可能な直前の引数。
	二者択一の選択。

## プラットフォームの表記

VisiBroker マニュアルでは、次の記号を使用してプラットフォーム固有の情報を示します。

記号	意味
<b>Windows</b>	サポートされているすべての Windows プラットフォーム
<b>Win2003</b>	Windows 2003 のみ
<b>WinXP</b>	Windows XP のみ
<b>Win2000</b>	Windows 2000 のみ
<b>UNIX</b>	すべての UNIX プラットフォーム
<b>Solaris</b>	Solaris のみ
<b>Linux</b>	Linux のみ

## Borland サポートへの連絡

Borland 社は各種のサポートオプションを用意しています。それらにはインターネット上の無償サービスが含まれており、大規模な情報ベースを検索したり、他の Borland 製品ユーザーからの情報を得ることができます。さらに Borland 製品のインストールに関するサポートから有償のコンサルタントレベルのサポートおよび高レベルなアシスタンスに至るまでの複数のカテゴリから、電話サポートの種類を選択できます。

Borland のサポートサービスの詳細や Borland テクニカルサポートへの問い合わせについては、Web サイト <http://support.borland.com> で地域を選択してください。

Borland 社のサポートへの連絡にあたっては、次の情報を用意してください。

- 名前
- 会社名およびサイト ID
- 電話番号
- ユーザー ID 番号 (米国のみ)
- オペレーティングシステムおよびバージョン
- Borland 製品名およびバージョン
- 適用済みのパッチまたはサービスパック
- クライアントの言語とそのバージョン (使用している場合)
- データベースとそのバージョン (使用している場合)
- 発生した問題の詳細な内容と経緯



- 問題を示すログファイル
- 発生したエラーメッセージまたは例外の詳細な内容

## オンラインリソース

---

ネットワーク上の次のサイトから情報を得ることができます。

Web サイト	<a href="http://www.borland.com/jp/">http://www.borland.com/jp/</a>
オンラインサポート	<a href="http://support.borland.com">http://support.borland.com</a> (ユーザー ID が必要)
リストサーバー	電子ニュースレター (英文) を購読する場合は、次のサイトに用意されているオンライン書式を使用してください。 <a href="http://www.borland.com/products/newsletters">http://www.borland.com/products/newsletters</a>

## Web サイト

---

定期的に <http://www.borland.com/us/products/visibroker/> をチェックしてください。VisiBroker 製品チームによるホワイトペーパー、競合製品の分析、FAQ の回答、サンプルアプリケーション、最新ソフトウェア、最新のマニュアル、および新旧製品に関する情報が掲載されます。

特に、次の URL をチェックすることをお勧めします。

- [http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html)  
(最新の VisiBroker ソフトウェアおよび他のファイル)
- <http://www.borland.com/techpubs> (マニュアルの更新および PDF)
- <http://support.borland.com/entry.jspa?externalID=4273&categoryID=112>  
(VisiBroker の FAQ)
- <http://community.borland.com>  
(英語、開発者向けの弊社 Web ベースニュースマガジン)

## Borland ニュースグループ

---

Borland VisiBroker を対象とした数多くのニュースグループに参加できます。VisiBroker などの Borland 製品のユーザーによるニュースグループへの参加については、<http://www.borland.com/newsgroups> を参照してください。

**メモ** これらのニュースグループはユーザーによって管理されているものであり、ボーランド社の公式サイトではありません。



# 第 2 章

## インストールプラン

このガイドでは、Windows および UNIX で Borland VisiBroker をインストールするために必要なタスクとインストールに関連するタスクについて説明します。

推奨事項：

- 通常、VisiBroker は、広範囲で共有されている UNIX または Windows コンピュータにインストールされます。
- 製品マニュアル（オンラインヘルプトピック）やサンプルのインストールはオプションですが、両方インストールすることをお勧めします。

### パッケージの内容

---

パッケージには、Borland VisiBroker CD および製品マニュアルが含まれます。パッケージには、Borland VisiBroker に付属する追加の製品 CD が含まれている場合もあります。

**メモ** Borland のソフトウェアは、Borland の次の Web サイトからダウンロードすることもできます。

[http://www.borland.com/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html)

### システム必要条件

---

Borland VisiBroker がサポートするプラットフォームの最新情報や JDK の必要条件については、Borland Web サイト (<http://support.borland.com/kbcategory.jspa?categoryID=5>) を参照してください。

プラットフォーム固有の必要条件に加えて、Borland VisiBroker コンポーネントは、TCP および UDP によるブロードキャストサービスを必要とします。これらのコンポーネントを単一コンピュータで実行する場合でも、TCP および UDP サービスが有効になっている必要があります。

## JDK

---

インストーラは、Windows プラットフォームと UNIX プラットフォームには JDK バージョン 1.5 をインストールします。また、Borland VisiBroker のインフラストラクチャとツールにおいても同様に、JDK 1.5 を使用します。

## 必要なディスクスペース

---

必要なディスクスペースについては、以下を参照してください。

<http://support.borland.com/kbcategory.jspx?categoryID=5>

**重要** 必要なディスクスペースは、次の要素に依存します。

- オペレーティングシステム
- JDK

## ライセンス

---

Borland VisiBroker のライセンスには、次の 2 種類があります。

- **ノードライセンス**。このライセンスは、ライセンスが適用およびアクティブ化されるシステムに固定化されます。このライセンスを別のシステムにコピーすることはできません。また、別のシステムで実行されている VisiBroker 製品からこのライセンスにアクセスすることもできません。同じシステムにソフトウェアを再インストールした場合は、ライセンスを再度アクティブ化する必要があります。

製品を使用する前に、VisiBroker ノードライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ノードライセンスを適用するには、次の条件が必要です。

- **ライセンスごとの Serial Number と Key、またはアクティベーションファイル**。これらは Borland から電子メールで送信されます。
- **Borland Developer Network (BDN) のアカウント**。アカウントがない場合は、登録/使用許諾プロセス時に作成できます（「[Windows への VisiBroker のインストール](#)」と「[Solaris への VisiBroker のインストール](#)」を参照）。
- **インターネットアクセス**。ライセンスをアクティブ化する方法としてダイレクト登録または Web ページ登録を使用する場合は、インターネットアクセスが必要です。登録は任意のシステムから実行できます。製品をインストールしたシステムである必要はありません。

リモートシステムにライセンスを適用する場合は、そのシステムに Telnet でアクセスし、アクティベーションファイルをシステムに (FTP で) コピーする必要があります。

## 次の作業

---

ネットワークインストールのプランを作成したら、VisiBroker をインストールできます。

Windows にインストールする場合は、「[Windows への VisiBroker のインストール](#)」を参照してください。

UNIX にインストールする場合は、「[Solaris への VisiBroker のインストール](#)」を参照してください。

# 第 3 章

## Windows への VisiBroker のインストール

ここでは、Borland VisiBroker と関連コンポーネントを Windows にインストールする方法について説明します。

Solaris にインストールする場合は、「[Solaris への VisiBroker のインストール](#)」を参照してください。

- メモ** VisiBroker の以前のバージョンがある場合は、これをアンインストールするか、新しいバージョンを別のインストールパスで別の場所にインストールすることをお勧めします。
- メモ** 評価バージョンをインストールした後で、VisiBroker を永続使用するためのライセンスを購入した場合、評価したソフトウェアを再インストールする必要はありません。License Manager (管理コンソールの [Tools] メニューから起動) を使用すると、評価ライセンスを削除し、次に新しい永続ライセンスを追加してアクティブ化できます。新しいライセンスのアクティブ化については、「[Borland product registration wizard](#)」を参照してください。

### インストールの準備

---

VisiBroker は、CD からインストールするか、Borland Web サイト ([http://www.borland.com/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html)) からダウンロードしてインストールできます。

VisiBroker をインストールする前に、次の操作を行います。

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 インストール方法を選択します。
  - Borland Web サイトからインストールする場合は、[http://www.borland.com/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/downloads/download_visibroker.html) にアクセスします。
  - CD からインストールする場合は、CO-ROM ドライブに CD を挿入します。
  - プロパティファイルの定義を使用して自動インストールを実行する場合は、「[自動インストールによる VisiBroker のインストール \(Windows と Solaris\)](#)」を参照してください。

## JDK

インストーラによって JDK バージョン 1.4.2 および 1.5.0 が Windows にインストールされます。VisiBroker のインフラストラクチャとツールは、JDK 1.4.2 を使用します。

## Borland VisiBroker のインストール

VisiBroker は、CD からインストールするか、Borland Web サイト ([http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html)) からダウンロードしてインストールできます。

VisiBroker をインストールする前に、インストール方法を選択します。

Borland の Web サイトから製品をダウンロードする場合は、前述の Web サイトにアクセスします。

CD からインストールする場合は、CO-ROM ドライブに CD を挿入します。

プロパティ ファイルの定義を使用して自動インストールを実行する場合は、「自動インストールの起動」を参照してください。

### メモ (Windows Vista のみ)

Windows vista にインストールするとき、インストーラを実行するために、Administrator 権限が必要です。権限がない場合、インストーラがクラッシュします。

したがって、Vista プラットフォームでインストーラ バイナリを実行する前に、バイナリのプロパティで [ 互換モードでこのプログラムを実行する ] を設定する必要があります。

推奨設定を使って再インストールすると、インストーラは問題なく実行されます。

代わりに、Windows のエクスプローラからインストーラを右クリックして、プロパティメニューの [ 互換性 ] タブを使用できます。

[ 互換モードでこのプログラムを実行する ] で [Windows XP (Service Pack 2)] を選択して問題を解決できます。

### VisiBroker と関連コンポーネントをインストールするには :

- VisiBroker のインストーラを Web からダウンロードするか、CD からインストールします。CD からのインストールでは、システムで autorun が有効になっている場合、CD-ROM ドライブに CD を挿入すると、インストーラが自動的に起動します。
- Web からダウンロードした VisiBroker インストーラをインストールする場合は、ダウンロードした実行可能ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。
- 画面に表示される指示にしたがいます。ほとんどのオプションについては、インストールウィザードから提供されるデフォルトをそのまま使用できます。[Previous] ボタンを使用すると、前の画面に戻って情報を変更できます。
- インストールする Borland VisiBroker 製品を選択します。

**重要** インストールする製品を選択して [Next] をクリックした後で、別の製品を選択するには、現在のインストールをキャンセルし、インストールプロセスを再開する必要があります。

- 1 **開始画面** - 概要を確認し、[Next] をクリックします。
- 2 **使用許諾契約** - VisiBroker をインストールおよび使用するには、ライセンス使用許諾契約に同意する必要があります。
- 3 **インストールフォルダの選択** - 新しい VisiBroker のインストールを作成するか、既存の 7.0 インストールにコンポーネントを追加します。デフォルト (C:\¥Borland¥VisiBroker) を受け入れるか、別の場所を選択します。

**重要** このバージョンの VisiBroker を以前のリリースに上書きしてインストールすることはできません。

- 4 製品コンポーネントの選択** - インストールする Borland VisiBroker 製品に合わせて、次の機能に応じた製品コンポーネントを選択します。
- a VisiBroker Console** - VisiBroker ORB とサービスを管理するための GUI とツール。
  - b VisiBroker Core** - VisiBroker for Java and C++ 開発ツールとサーバーコンポーネント。
  - c Documentation** - オンラインマニュアル一式。
  - d Examples** - Borland Enterprise Server のサンプルアプリケーション。
  - e VisiBroker Services** - VisiBroker の拡張機能として購入するオプションのコンポーネント。
- 5 Choose VisiBroker Services** - 購入した VisiBroker Extended Services のインストールを選択した場合は、次の Extended Services を選択します。
- a VisiNotify** - OMG イベント/通知サービスの ORB レベルの高機能実装。
  - b VisiSecure** - クライアントとサーバーの間にセキュリティで保護された接続を確立するためのフレームワーク。
  - c VisiTime** - OMG Time Service 仕様バージョン 1.1 の完全な実装。
  - d VisiTransact** - インターネットやイントラネットで CORBA アプリケーションとやり取りするための OMG トランザクション管理ソリューションの完全な実装。
  - e VisiTelcoLog** - OMG Telecom Log Service 仕様バージョン 1.1.2 の OMG 準拠の実装。
- 6 Choose Install Type - [Typical/Custom] パネル**
- a Typical** - デフォルトの設定を使用する簡易インストールです。  
この標準インストールには、次のデフォルトの設定が含まれています。
    - 1** スマートエージェントポート。osagent と呼ばれます。このポートは、ORB がサーバーと通信する場合に使用します。デフォルトは 14000 です。
    - 2** VisiBroker の bin ディレクトリを PATH 変数に追加。標準インストールでは、VisiBroker の bin フォルダが PATH に追加されません。追加するには、[Custom] インストールタイプを選択します。  
デフォルトを選択する場合は、いくつかのコンポーネントを手動で環境パスに追加する必要があります。
    - 3** VisiBroker の環境変数を追加。標準インストールでは、VisiBroker の環境変数がシステム環境に追加されません。カスタムインストールタイプを選択して VisiBroker の環境変数を追加すると、BES\_LIC\_DIR には <install\_dir>%var が設定され、BES\_LIC\_DEFAULT\_DIR には <install\_dir>%license が設定されます。
  - b Custom** - このオプションを選択すると、次のインストールオプションを設定できます。
    - 1** デフォルト以外のスマートエージェントポート/エージェント名を指定。
    - 2** bin ディレクトリを PATH に含める。デフォルトは [No] です。ディレクトリを PATH に追加するには、[Yes] を選択します。
    - 3** VisiBroker の環境変数を含める。デフォルトは [No] です。システム環境に VisiBroker の環境変数を追加するには、[Yes] を選択します。BES\_LIC\_DIR には <install\_dir>%var が設定され、BES\_LIC\_DEFAULT\_DIR には <install\_dir>%license が設定されます。
- 7 Pre-Installation Summary** - インストールを開始する前に、表示される情報を確認します。選択内容を承認してインストールを開始するには、[Install] ボタンをクリックします。

## 8 登録

- a インストーラを終了する前に **Borland product registration wizard** を起動するには、[Yes] (デフォルト) を選択し、[Next] をクリックします。登録ウィザードが別ウィンドウで起動します (「**Borland product registration wizard**」を参照)。登録ウィザードを終了すると、**Install Complete** パネルが表示されます。
- b VisiBroker の評価バージョンまたは無料バージョンをインストールする場合は、登録ウィザードを起動するかどうかをたずねられません。VisiBroker を使用する前に、Borland から電子メールで受け取ったライセンスアクティベーションキーファイルを <install\_dir>/license ディレクトリにコピーしてください。ライセンスアクティベーションキーファイルを受け取っていない場合、またはソフトウェアを再インストールする場合は、[http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html) にアクセスし、新しいライセンスキーをダウンロードしてください。

### 重要

製品を使用するには、ライセンスを登録してアクティブ化する必要があります。

lmadm 実行ファイル (<インストールルート>/bin) を実行してライセンスを後から登録してアクティブ化する場合は、[No] を選択して、[Next] をクリックします。

- 9 [Make a Selection] 画面で、オプションを選択します。
  - a **Have a serial Number** - シリアル番号を入力します。
  - b **Have Activation file** - アクティベーション ファイルのパスを入力します。
- 10 インストールの完了後、インストーラを閉じるには、[Done] をクリックします。

### インストール後にライセンスを登録し、アクティブ化するには：

- 1 <インストール ルート>/bin ディレクトリに移動します。
- 2 toolsjdk.config ファイルを開き、プロパティ 'java.net.preferIPv4Stack' の値を "true" に変更します。
- 3 toolsjdk.config ファイルを保存し閉じます。
- 4 lmadm を <インストール ルート>/bin ディレクトリから起動し、ライセンス登録プロセスを完了します。
- 5 ライセンス登録が完了したら、必ずプロパティ 'java.net.preferIPv4Stack' を "false" に戻してください。

### メモ

lmadm 実行ファイル (<インストール ルート>/bin) を実行する場合、ライセンスを登録してアクティブ化できます。

一部のホストで、ライセンス登録ウィザード (lmadm) をインストール中に起動するのに時間がかかることがあります。この動作は、システムが IPv6 スタックを使うように設定されているときに特に報告されています。マシン設定やネットワーク設定が不正な場合、接続の試行が遅くなる場合があります。この問題を解決するには、インストール中にライセンス登録を省略して、インストール後にライセンス登録を実行する必要があります。



## インストールログ

---

インストーラによって生成されるインストールログは、インストールディレクトリのルート (VisiBroker を CD からインストールした場合) またはインストーラファイルが存在するフォルダ (ダウンロードファイルを使用して VisiBroker をインストールした場合) に書き込まれます。

次は、VisiBroker のインストールログファイルです。

```
<install_dir>%Borland_Visibroker_InstallLog.xml
```

このファイルは XML 形式のログで、エラーなどのインストールに関する情報が保存されます。

## 製品マニュアル

---

Borland VisiBroker の CD には、すべてのオンラインマニュアルのライブラリが収録されています。製品がインストールされているコンピュータでマニュアルにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- コマンドプロンプトで次のコマンドを使用します。

```
help
```

help コマンドを使用するには、パスシステム変数に <install\_dir>%bin ディレクトリが含まれている必要があります。または、パスを明示的に入力します。

- [スタート | プログラム | Borland VisiBroker | Help Topics] の順に選択します。
- VisiBroker コンソールの [Help] メニューに移動します。

## VisiBroker for C++ サーバー、VisiTransact、または VisiNotify ライセンス変数の設定

---

VisiBroker for C++ サーバー、VisiTransact、または VisiNotify を実行する前に、2 つのライセンス環境変数 (BES\_LIC\_DIR と BES\_LIC\_DEFAULT\_DIR) を設定する必要があります。インストール中に、これらの環境変数の設定に使用するバッチスクリプトが作成されます。

**環境変数を設定するには :**

- 1 コマンドウィンドウを開きます。
- 2 ディレクトリを <install\_dir>%bin に変更します。
- 3 vbroker.bat を実行します。

## Borland product registration wizard

---

VisiBroker を使用する前に、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、Borland から、1 つ以上の **Serial Number** と **Key** がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。

新しくインストールした VisiBroker ソフトウェアと同じコンピュータに VisiBroker (BES) の以前のバージョンの有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールした VisiBroker ソフトウェアで使用するには、lmadm コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。VisiBroker のライセンスの種類については、「[ライセンス](#)」を参照してください。

オンラインで購入した製品または評価のためにダウンロードした製品のキーファイルを Borland から電子メールで受け取った場合、または製品の無料バージョンをダウンロードした場合は、登録ウィザードを使用してキーファイルを適用できます。または、<install\_dir>%license ディレクトリにキーファイルをコピーすると、製品を再起動したときに自動的にキーファイルが適用されます。

Serial Number と Key がある場合は、次の登録方法のいずれかを使用して VisiBroker 製品を登録し、アクティブ化できます。

- **Direct** - システムがインターネットに接続されている場合は、最も簡単な方法です。製品登録ウィザードの指示にしたがって必要な手順をすべて実行すると、自動的にライセンスをアクティブ化できます。詳細は、「[ダイレクト登録](#)」を参照してください。
- **Email** - 電子メールアカウントを使用して任意のシステムから登録要求を送信すると、アクティベーションファイルが電子メールで送付され、それをインストールに適用できます。詳細は、「[電子メール登録](#)」を参照してください。
- **Web page** - Borland Web サイトにアクセスして登録を行う点以外は、電子メールによる登録と同じです。詳細は、「[Web ページ登録](#)」を参照してください。
- **Telephone** - Borland の担当者に必要な情報を伝えると、電子メールまたは郵送でアクティベーションファイルが送付されます。詳細は、「[電話登録](#)」を参照してください。

選択した方法によっては、Borland Developer Network (BDN) アカウントを持っているかどうかをたずねられる場合があります。アカウントがない場合は、製品登録ウィザードでアカウントを作成するように求められます。

登録方法として [Direct] を選択しなかった場合は、アクティベーションファイルが送付されます。このファイルを <install\_dir>%license ディレクトリにコピーすると、製品を起動したときにファイルが自動的に適用されます。

### ダイレクト登録

---

Borland product registration wizard を使用してダイレクト登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で登録方法として [Direct] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 必要に応じて、インターネット接続のためのプロキシ設定を入力します。
- 4 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。ウィザードは、登録の進捗状況を監視して表示します。
- 5 登録が正常に完了したら、[Next] をクリックします。次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。

## 電子メール登録

---

Borland product registration wizard を使用して電子メール登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Email] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 4 [Email Registration] 内容ペインの内容を reg@borland.com 宛の電子メールメッセージにコピーし、[Next] をクリックします。
- 5 ウィザードを閉じるには、[Finish] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 6 アクティベーションファイルを <install\_dir>%license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

## Web ページ登録

---

Borland product registration wizard を使用して Web ページ登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Web page] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ウィザードの Web 登録ステップに表示される登録キーをコピーし、[Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 3 Web ブラウザを起動し、http://reg.borland.com にアクセスします。
- 4 登録 Web ページで BDN アカウント情報を入力し、[Login] をクリックします。アカウントを持っていない場合は、[Create account] リンク (http://reg.borland.com/srs5/new\_user.jsp) をクリックします。
- 5 [Product Registration] Web ページで Serial Number と Key (登録ウィザードからコピーしたもの) を入力し、[Continue] をクリックします。
- 6 アクティベーションファイルを受け取るための電子メールアドレスを確認し、[Register] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 7 アクティベーションファイルを <install\_dir>%license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

## 電話登録

---

Borland product registration wizard を使用して電話登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Telephone] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ドロップダウンリストから、最も近い場所を選択します。
- 3 [Next] をクリックし、次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 4 電話サポートの番号に電話し、手元の電話登録ウィザードの画面に表示されている情報を伝えます。

- 5 アクティベーションファイルを受け取ったら、それを <install\_dir>%license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

## Borland VisiBroker のアンインストール

---

次の手順で、Borland VisiBroker をアンインストールします。

- 1 アンインストール中にバックグラウンドで実行中のプロセス (osagent など) がないことを確認します。
  - 2 UninstallerData フォルダを開きます。
  - 3 [uninstall] アイコンをダブルクリックします。
  - 4 [Uninstall] をクリックして、インストールされているすべてのコンポーネントを完全に削除します。
- メモ** この作業では、インストール後に作成されたファイルやフォルダは削除されません。
- 5 **uninstall** プログラムの実行が終了したら、インストールディレクトリの内容を確認し、不要なファイルとサブディレクトリを削除します。
- メモ** アンインストール後に、ユーザーの「Documents and Settings」フォルダに .bas66 などのファイルやフォルダが残ることがあります。これらのファイルも同様に削除する必要があります。

# 第 4 章

## Solaris への VisiBroker のインストール

ここでは、Borland VisiBroker と関連コンポーネントを Solaris オペレーティングシステムにインストールする方法について説明します。

Windows にインストールする場合は、「[Windows への VisiBroker のインストール](#)」を参照してください。

**メモ** VisiBroker の以前のバージョンがある場合は、これをアンインストールするか、新しいバージョンを別のインストールパスで別の場所にインストールすることをお勧めします。

**メモ** 評価バージョンをインストールした後で、VisiBroker を永続使用するためのライセンスを購入した場合、評価したソフトウェアを再インストールする必要はありません。新しいライセンスのアクティブ化については、「[Borland product registration wizard](#)」を参照してください。

### インストールの準備

---

VisiBroker は、CD からインストールするか、Borland Web サイト ([http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html)) からダウンロードしてインストールできます。

VisiBroker をインストールする前に、インストール方法を選択します。

- CD からインストールする場合は、Borland VisiBroker CD をマウントしてからインストールを開始します。Solaris については、「[Solaris での VisiBroker CD のマウント](#)」を参照してください。
- インストーラの GUI を呼び出さずにコマンドラインからインストールする場合は、「[GUI を使用しないインストーラの実行](#)」を参照してください。
- プロパティファイルの定義を使用して自動インストールを実行する場合は、「[自動インストールによる VisiBroker のインストール \(Windows と Solaris\)](#)」を参照してください。

### JDK

---

Solaris へのインストール中に、JDK バージョン 5.0 がインストールされます。

## Solaris での VisiBroker CD のマウント

---

Borland VisiBroker の CD には、Solaris オペレーティングシステム向けのインストールソフトウェアが収録されています。ここでは、Solaris に CD から VisiBroker をインストールするための準備について説明します。

次の手順で、CD をローカルワークステーションにマウントします。

- 1 ワークステーションにログインします。
- メモ ボリュームマネージャが実行されていない場合は、ステップ 5 で CD をマウントするために、スーパーユーザー特権が必要です。
- 2 CD をドライブに挿入します。
- 3 コマンドシェルを開きます。
- 4 ボリュームマネージャが実行されているかどうかを判定するには、次のコマンドを入力します。
 

```
/usr/bin/ps -ef | grep mountd
```

 実行中のすべてのプロセスの一覧から、次のような応答を探します。
 

```
root 247 1 0 Oct 30?0:00 /usr/lib/autofs/automountd
```
- 5 ボリュームマネージャが実行されている場合は、「[Solaris での Borland VisiBroker のインストール](#)」に進みます。
- 6 ボリュームマネージャが実行されていない場合は、「[Solaris での Borland VisiBroker のインストール](#)」に進む前に、ルートに移動し、次のコマンドを入力して CD をマウントしてください。
 

```
/usr/sbin/mount -F hsfs -r /dev/dsk/device /cdrom
```

 ここで、device は CD のデバイス名です。
- 7 次のコマンドを入力して CD ディレクトリに移動します。
 

```
cd /cdrom
```
- 8 VisiBroker のインストール後に CD のマウントを解除するには、ルートに移動し、次のコマンドを入力します。
 

```
umount /cdrom
```

## Solaris での Borland VisiBroker のインストール

---

VisiBroker は、CD からインストールするか、Borland Web サイト ([http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html)) からダウンロードしてインストールできます。

VisiBroker をインストールする前に、インストール方法を選択します。

- Borland の Web サイトから製品をダウンロードする場合は、前述の Web サイトにアクセスします。
- CD からインストールする場合は、CO-ROM ドライブに CD を挿入します。
- プロパティ ファイルの定義を使用して自動インストールを実行する場合は、「自動インストールの起動」を参照してください。

**Borland VisiBroker と関連コンポーネントをインストールするには：**

- 1 VisiBroker のインストーラを Web からダウンロードするか、CD からインストールします。
  - VisiBroker を CD からインストールする場合は、次の手順に従います。

1 CD-ROM をマウントします。

2 次のコマンドを入力してインストーラを起動します。

```
install_solaris
```

別ウィンドウでインストール ウィザードが起動します。

3 インストールする製品を選択します。

インストール ウィザードの画面に表示される指示に従います。ほとんどのオプションについては、インストール ウィザードに用意されているデフォルトをそのまま使用できます。[Previous] ボタンを使用すると、前の画面に戻って情報を変更できます。

- **ダウンロードファイルから VisiBroker を Solaris にインストールする場合は、次の手順に従います。**

1 適切なコマンドを入力してインストーラを起動します。

```
vb8-<リリース番号>-solaris-x64.bin
```

2 インストール ウィザードの画面に表示される指示に従います。ほとんどのオプションについては、インストール ウィザードに用意されているデフォルトをそのまま使用できます。[Previous] ボタンを使用すると、前の画面に戻って情報を変更できます。

- インストールする Borland VisiBroker 製品を選択します。

**重要** インストールする製品を選択して [次へ] をクリックした後で、別の製品を選択するには、現在のインストールをキャンセルし、インストールプロセスを再開する必要があります。

1 **開始画面** - 概要を確認し、[Next] をクリックします。

2 **使用許諾契約 - VisiBroker** をインストールおよび使用するには、ライセンス使用許諾契約に同意する必要があります。

3 **インストールフォルダの選択** - 新しい VisiBroker のインストールを作成するか、既存の 7.0 インストールにコンポーネントを追加します。

**重要** このバージョンの VisiBroker を以前のリリースに上書きしてインストールすることはできません。

4 **製品コンポーネントの選択** - インストールする Borland VisiBroker 製品に合わせて、次の機能に応じた製品コンポーネントを選択します。

a **VisiBroker Console** - VisiBroker ORB とサービスを管理するための GUI とツール。

b **VisiBroker Core** - VisiBroker for Java and C++ 開発ツールとサーバーコンポーネント。

c **Documentation** - オンラインマニュアル一式。

d **Examples** - Borland VisiBroker のサンプルアプリケーション。

e **VisiBroker Extended Services** - VisiBroker の拡張機能として購入するオプションのコンポーネント。

5 **Choose VisiBroker Extended Services** - 購入した VisiBroker Extended Services のインストールを選択した場合は、次の Extended Services を選択します。

a **VisiNotify** - OMG イベント / 通知サービスの ORB レベルの高機能実装。

b **VisiSecure** - クライアントとサーバーの間にセキュリティで保護された接続を確立するためのフレームワーク。

c **VisiTime** - OMG Time Service 仕様バージョン 1.1 の完全な実装。

d **VisiTransact** - インターネットやイントラネットで CORBA アプリケーションとやり取りするための OMG トランザクション管理ソリューションの完全な実装。

- e **VisiTelcoLog** - OMG Telecom Log Service 仕様バージョン 1.1.2 の OMG 準拠の実装。

## 6 Choose Install Type - [Typical/Custom] パネル

- a **Typical** - デフォルトの設定を使用する簡易インストールです。

この標準インストールには、次のデフォルトの設定が含まれています。

- 1 スマートエージェントポート。osagent と呼ばれます。このポートは、ORB がサーバーと通信する場合に使用します。デフォルトは 14000 です。
- 2 エージェント名。同じスマートエージェント (osagent) ポートを使用しているエージェントには、一意の名前を指定する必要があります。デフォルトはホスト名です。

- b **Custom** - このオプションを選択すると、次のインストールオプションを設定できます。

- 1 デフォルト以外の Smart Agent のポート /Agent の名前を指定。このポートは、ORB がサーバーと通信する場合に使用します。値は 5000 から 65535 の間から選択できます。デフォルトは 14000 です。
- 2 デフォルト JDK を選択できます。デフォルト JDK を使用しない場合は、[choose] ボタンをクリックして JDK のホーム パスを選択します。

- 7 **Pre-Installation Summary** - インストールを開始する前に、表示される情報を確認します。選択内容を承認してインストールを開始するには、[Install] ボタンをクリックします。

## 8 登録

- インストーラを終了する前に **Borland product registration wizard** を起動するには、[はい] (デフォルト) を選択し、[次へ] をクリックします。登録ウィザードが別ウィンドウで起動します (「[Borland product registration wizard](#)」を参照)。登録ウィザードを終了すると、インストーラの完了パネルが表示されます。
- **VisiBroker** の評価バージョンまたは無料バージョンをインストールする場合は、登録ウィザードを起動するかどうかをたずねられません。**VisiBroker** を使用する前に、**Borland** から電子メールで受け取ったライセンスアクティベーションキーファイルを <install\_dir>/license ディレクトリにコピーしてください。ライセンスアクティベーションキーファイルを受け取っていない場合、またはソフトウェアを再インストールする場合は、[http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html) にアクセスし、新しいライセンスキーをダウンロードしてください。

### 重要

製品を使用するには、ライセンスを登録してアクティブ化する必要があります。**VisiBroker** をインストールした同じコンピュータに以前のバージョン (BES) の有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールした **VisiBroker** ソフトウェアで使用するには、lmadm コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。**VisiBroker** のライセンスの種類については、「[ライセンス](#)」を参照してください。

- 9 [Make a Selection] 画面で、オプションを選択します。

- a **Have a serial Number** - シリアル番号を入力します。

- b **Have Activation file** - アクティベーションファイルのパスを入力します。

- 10 インストールの完了後、インストーラを閉じるには、[Done] をクリックします。

### メモ

lmadm 実行ファイル (<インストール ルート>\bin) を実行する場合、ライセンスを登録してアクティブ化できます。

一部のホストで、ライセンス登録ウィザード (lmadm) をインストール中に起動するのに時間がかかることがあります。この動作は、システムが IPv6 スタックを使うように設定されているときに特に報告されています。マシン設定やネットワーク設定が不正な場合、接続の



試行が遅くなることがあります。この問題を解決するには、インストール中にライセンス登録を省略して、インストール後にライセンス登録を実行する必要があります。

### インストール後にライセンスを登録し、アクティブ化するには：

- 1 <インストール ルート>/bin ディレクトリに移動します。
- 2 toolsjdk.config ファイルを開き、プロパティ 'java.net.preferIPv4Stack' の値を "true" に変更します。
- 3 toolsjdk.config ファイルを保存し閉じます。
- 4 lmadm を <インストール ルート>/bin ディレクトリから起動し、ライセンス登録プロセスを完了します。
- 5 ライセンス登録が完了したら、必ずプロパティ 'java.net.preferIPv4Stack' を "false" に戻してください。

**メモ** VisiBroker が NFS でマウントされたディレクトリにインストールするとき、システムの一時ディレクトリに十分なディスク スペースがない場合、インストール後のクリーンアッププロセスがすべての一時ファイルを削除できないことがあります。これは NFS サーバーがディレクトリのファイルを定期的にロックするからです。この問題を解決するには、インストール後に手動で、一時ディレクトリとファイルを削除する必要があります。

## インストールログ

---

インストーラによって生成されるインストールログは、インストールディレクトリのルート (VisiBroker を CD からインストールした場合) またはインストーラファイルが存在するフォルダ (ダウンロードファイルを使用して VisiBroker をインストールした場合) に書き込まれます。

次は、VisiBroker のインストールログファイルです。

```
<install_dir>/Borland_VisiBroker_InstallLog.xml
```

このファイルは XML 形式のログで、エラーなどのインストールに関する情報が保存されます。

## 製品マニュアル

---

Borland VisiBroker の CD には、すべてのオンラインマニュアルのライブラリが収録されています。製品がインストールされているコンピュータでマニュアルにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- コマンドシェルを開き、次のコマンドを入力します。  
help  
help コマンドを使用するには、パスシステム変数に <install\_dir>/bin ディレクトリが含まれている必要があります。または、パスを明示的に入力します。
- [ヘルプ] メニューに移動します。
- VisiBroker (スタンドアロン) コンソールの [ヘルプ] メニューに移動します。

## GUI を使用しないインストーラの実行

---

UNIX システムでは、テキストのみのモードでインストーラを実行することができます。UI モードを指定するパラメータを使用して、インストーラを起動できます。

テキストモードでインストーラを実行するには、次の手順にしたがいます。

- 1 ディレクトリをインストール実行可能ファイルがあるフォルダに移動します。

2 適切なコマンドを入力します。

- **Solaris 版 CD**

```
install_solaris install -i console
```

- **Solaris 版ダウンロードファイル**

```
<install_file>.bin install -i console
```

インストーラは stdout に書き込み、stdin から読み取ります。これにより、1 つのシステムから別のシステムに telnet で接続し、インストーラをリモートに実行できます。

## VisiBroker for C++ サーバー、VisiTransact、または VisiNotify ライセンス変数の設定

---

VisiBroker C++ サーバー、VisiTransact、または VisiNotify を実行する前に、2 つのライセンス環境変数 (BES\_LIC\_DIR と BES\_LIC\_DEFAULT\_DIR) を設定する必要があります。インストール中に、これらの環境変数の設定に使用するシェルスクリプトが作成されます。

次の手順で環境変数を設定します。

1 コマンドウィンドウを開きます。

2 ディレクトリを <install dir>/bin に変更します。

3 使用しているシェルに適したスクリプトを特定します。

Korn または Bourne シェルを使用している場合は、次のスクリプトを使用して環境変数を設定します。

```
vbroker.sh
```

C シェルを使用している場合は、次のスクリプトを使用して環境変数を設定します。

```
vbroker.csh
```

4 ログインしたときに自動的にスクリプトが実行されるように、.profile、.cshrc、または .login ファイルにコマンドを追加します。

## Borland product registration wizard

---

VisiBroker を使用する前に、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、Borland から、1 つ以上の Serial Number と Key がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。

VisiBroker を新しくインストールした同じコンピュータに以前のバージョンの有効なノードライセンスがインストールされている場合、そのライセンスを新しくインストールしたソフトウェアで使用するには、lmadm コマンドラインツールを使用して以前のライセンスを移行します。VisiBroker のライセンスの種類については、「[ライセンス](#)」を参照してください。

オンラインで購入した製品または評価のためにダウンロードした製品のキーファイルを Borland から電子メールで受け取った場合、または製品の無料バージョンをダウンロードした場合は、登録ウィザードを使用してキーファイルを適用できます。または、<install\_dir>/license ディレクトリにキーファイルをコピーすると、製品を再起動したときに自動的にキーファイルが適用されます。

Serial Number と Key がある場合は、次の登録方法のいずれかを使用して VisiBroker 製品を登録し、アクティブ化できます。

- **Direct** - システムがインターネットに接続されている場合は、最も簡単な方法です。製品登録ウィザードの指示にしたがって必要な手順をすべて実行すると、自動的にライセンスをアクティブ化できます。詳細は、「[ダイレクト登録](#)」を参照してください。

- **Email** - 電子メールアカウントを使用して任意のシステムから登録要求を送信すると、アクティベーションファイルが電子メールで送付され、それをインストールに適用できます。詳細は、「[電子メール登録](#)」を参照してください。
- **Web page -Borland Web** サイトにアクセスして登録を行う点以外は、電子メールによる登録と同じです。詳細は、「[Web ページ登録](#)」を参照してください。
- **Telephone -Borland** の担当者に必要な情報を伝えると、電子メールまたは郵送でアクティベーションファイルが送付されます。詳細は、「[電話登録](#)」を参照してください。

選択した方法によっては、Borland Developer Network (BDN) アカウントを持っているかどうかをたずねられる場合があります。アカウントがない場合は、製品登録ウィザードでアカウントを作成するように求められます。

登録方法として [Direct] を選択しなかった場合は、アクティベーションファイルが送付されます。このファイルを <install\_dir>/license ディレクトリにコピーすると、製品を起動したときにファイルが自動的に適用されます。

## ダイレクト登録

---

Borland product registration wizard を使用してダイレクト登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で登録方法として [Direct] を選択し [Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 必要に応じて、インターネット接続のためのプロキシ設定を入力します。
- 4 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。ウィザードは、登録の進捗状況を監視して表示します。
- 5 登録が正常に完了したら、[Next] をクリックします。次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。

## 電子メール登録

---

Borland product registration wizard を使用して電子メール登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Email] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 BDN アカウントを持っているかどうかを指定し、[Next] をクリックします。アカウントがない場合は、このウィザードでアカウントを作成するように求められます。
- 3 要約情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 4 [Email Registration] 内容ペインの内容を reg@borland.com 宛の電子メールメッセージにコピーし、[Next] をクリックします。
- 5 ウィザードを閉じるには、[Finish] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送付されます。
- 6 アクティベーションファイルを <install\_dir>/license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

## Web ページ登録

---

Borland product registration wizard を使用して Web ページ登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Web page] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ウィザードの Web 登録ステップに表示される登録キーをコピーし、[Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 3 Web ブラウザを起動し、<http://reg.borland.com> にアクセスします。
- 4 登録 Web ページで BDN アカウント情報を入力し、[Login] をクリックします。アカウントを持っていない場合は、[Create account] リンク ([http://reg.borland.com/srs5/new\\_user.jsp](http://reg.borland.com/srs5/new_user.jsp)) をクリックします。
- 5 [Product Registration] Web ページで Serial Number と Key (登録ウィザードからコピーしたもの) を入力し、[Continue] をクリックします。
- 6 アクティベーションファイルを受け取るための電子メールアドレスを確認し、[Register] をクリックします。製品アクティベーションファイルが電子メールで送信されます。
- 7 アクティベーションファイルを <install\_dir>/license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

## 電話登録

---

Borland product registration wizard を使用して電話登録を行うためには、次の手順にしたがいます。

- 1 ウィザードの最初の画面で、登録方法として [Telephone] を選択し、[Next] をクリックします。
- 2 ドロップダウンリストから、最も近い場所を選択します。
- 3 [Next] をクリックし、次に [Finish] をクリックしてウィザードを閉じます。
- 4 電話サポートの番号に電話し、手元の電話登録ウィザードの画面に表示されている情報を伝えます。
- 5 アクティベーションファイルを受け取ったら、それを <install\_dir>/license ディレクトリにコピーし、製品を起動すると、ファイルが自動的に適用されます。

## Borland VisiBroker のアンインストール

---

次の手順で、Borland VisiBroker をアンインストールします。

- 1 アンインストール中にバックグラウンドで実行中のプロセス (osagent など) がないことを確認します。
- 2 Borland VisiBroker UninstallerData ディレクトリに移動します。
- 3 適切な uninstall コマンドを入力します。

### CD からインストールした Solaris 版の場合

```
uninstall
```

- メモ** この作業では、インストール後に作成されたファイルやフォルダは削除されません。
- 4 uninstall コマンドの実行が終了したら、インストールディレクトリの内容を確認し、不要なファイルとサブディレクトリを削除します。
- メモ** アンインストール後に、ユーザーのホームディレクトリ (.bdp65 など) にファイルやフォルダが残ることがあります。これらのファイルも同様に削除する必要があります。

# 第 5 章

## 自動インストールによる VisiBroker のインストール (Windows と Solaris)

ここでは、自動インストールを使用して、VisiBroker を Windows と Solaris にインストールする手順について説明します。

**メモ** VisiBroker のインストールに関する最新のプラットフォーム情報やシステム必要条件については、<http://support.borland.com/kbcategory.jspa?categoryID=395> を参照してください。

### 自動インストールの概要

---

自動インストールは、中規模から大規模なデプロイメントでを使用することをお勧めします。自動インストールは、複数のコンピュータにインストールするための設定を使用して、一度にインストール設定を行うために使用されます。設定ファイルを作成したら、自動インストールがユーザーとのやり取りなく実行されます。

**重要** 自動インストールを使用した場合は、VisiBroker のライセンス使用許諾書に同意したことになります。

### インストールの準備

---

自動インストールを使用する前に、次の点を確認する必要があります。

- 必要なディスクスペースがあること
- インストール先のルートディレクトリに VisiBroker の既存のインストールがないこと

## 必要なディスクスペース

---

VisiBroker のインストールに必要なディスクスペースの総量は、どのコンポーネントをインストールするかによって変わります。詳細は、<http://www.borland.com/techpubs/> を参照してください。

**メモ** ディスクスペースには、JDK のインストール分も含まれます。

## JDK

---

Windows では、製品とともに 1 つの JDK バージョン (JDK 1.5) がインストールされます。Solaris では、製品とともに JDK 5.0 だけがインストールされます。オプションの JDK プロパティ (JVM\_JDK\_HOME) は、ユーザーのアプリケーションコードをホストする VisiBroker コンポーネントに JDK パスを設定します。

自動インストールの場合、オプションの JVM\_JDK\_HOME プロパティは、デフォルトのバージョン 5.0 以外の JDK の JDK パスを設定する必要がある場合にのみ使用されます。

VisiBroker とともにインストールされた JDK 以外の JDK を使用すると、予期しない結果が生じる可能性があります。インストーラに付属する JDK を使用することをお勧めします。

**重要** VisiBroker をアンインストールする前に JVM\_JDK\_HOME がポイントする JDK インストールを削除しないでください。アンインストーラは、JVM\_JDK\_HOME プロパティがポイントする JDK を使用するように設定されているため、この JDK を削除すると、アンインストーラが動作しなくなります。

## 自動インストールの使用

---

**重要** 同じ VisiBroker インストールディレクトリまたはファイルの場所にある以前のインストールを上書きして VisiBroker を再インストールすることはできません。最初に前のバージョンをアンインストールしてから、再インストールする必要があります。最初にアンインストールしない場合は、別のファイルの場所に再インストールする必要があります。

自動インストールプロセスを起動する前に、インストールディレクトリ、サーバー名、JDK ホームなどの環境設定のプロパティを入れるテキストファイルを作成する必要があります。各プロパティは 1 行に記述され、各行は CR で終わる必要があります。また、行末に空白があったり、ファイルの末尾に空白行があってはなりません。詳細は、「[自動インストールに使用するプロパティファイル](#)」を参照してください。

テキストプロパティファイルを作成したら、<propertiesfile>.txt という名前で保存します。<propertiesfile> は、プロパティファイルのファイル名本体です。これで、プロパティファイルで指定した値を使用して自動インストールプロセスを起動できます。

## Windows での自動インストールの起動

---

**メモ** すべてのプロパティと値は大文字と小文字が区別されます。ディレクトリとファイルのパスを指定する場合は、必ずスラッシュ (/) を使用してください。

Windows で自動インストールプロセスを起動するには、次の手順にしたがいます。

- 1 コマンドプロンプトを開きます。
- 2 [http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html) にアクセスし、VisiBroker for Windows をダウンロードします。

- 3 インストーラをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを入力して自動インストールプロセスを起動します。<propertiesfile> ファイルはフルパス名を指定してください。

```
<installer_file> -f <プロパティファイルのパス>
```

ここで、<installer\_file> は **VisiBroker** インストーラファイルの名前、<プロパティファイルのパス> は <propertiesfile> ファイルのフルパスです。

たとえば、次のようになります。

```
BDP_Windows.exe -f c:/silentproperties.txt
```

- メモ** 自動インストールが完了したら、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、**Borland** から、1 つ以上の **Serial Number** と **Key** がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。新しいライセンスのアクティブ化については、「**Borland product registration wizard**」を参照してください。<install\_dir>\%bin ディレクトリにある `lmadmw` 実行可能ファイルを実行すれば、ライセンスを登録してアクティブ化できます。

## Solaris での自動インストールの起動

- メモ** すべてのプロパティと値は大文字と小文字が区別されます。ディレクトリとファイルのパスを指定する場合は、必ずスラッシュ (/) を使用してください。

Solaris で自動インストールプロセスを起動するには、次の手順にしたがいます。

- 1 コマンドラインシェルを開きます。
- 2 [http://www.borland.com/products/downloads/download\\_visibroker.html](http://www.borland.com/products/downloads/download_visibroker.html) にアクセスし、**VisiBroker for Solaris** をダウンロードします。
- 3 インストーラ実行可能ファイルを抽出します。
- 4 インストーラを抽出したディレクトリに移動し、すべてのアクセス許可を取得して (`chmod 777`)、インストーラを実行します。
- 5 次のコマンドを入力して、自動インストールプロセスを起動します。<propertiesfile> ファイルはフルパス名を指定してください。

```
<installer_file> -f <プロパティファイルのパス>
```

ここで、<installer\_file> は **VisiBroker** インストーラの名前、<プロパティファイルのパス> は <propertiesfile> ファイルのフルパスです。

たとえば、次のようになります。

```
BDP_Solaris32.bin -f /usr/home/myname/silentproperties.txt
```

または

```
BDP_Solaris64.bin -f /opt/myname/silentproperties.txt
```

- メモ** 自動インストールが完了したら、受け取った製品ライセンスを登録し、アクティブ化する必要があります。ライセンスは、**Borland** から、1 つ以上の **Serial Number** と **Key** がリストされた電子メールの形式で送信されるか、ライセンスキーファイルが電子メールで送信されます。新しいライセンスのアクティブ化については、**22 ページ**の「**Borland product registration wizard**」を参照してください。<install\_dir>/bin ディレクトリにある `lmadmw` 実行可能ファイルを実行すれば、ライセンスを登録してアクティブ化できます。

## 自動インストールに使用するプロパティファイル

このプロパティファイルは、VisiBroker の自動インストールに適用されます。プロパティファイルはテキストファイルです。各プロパティは 1 行に記述され、各行は CR で終わる必要があります。また、行末に空白があったり、ファイルの末尾に空白行があっても構いません。プロパティは、ファイル内で任意の順序で記述できます。

**重要 (Windows のみ)** [Uninstall] アイコンをクリックして、自動インストールでインストールした VisiBroker のインスタンスをアンインストールすると、VisiBroker は警告なしでアンインストールされます。

変数	値
INSTALLER_UI	silent (必須)。インストールのモード。
USER_INSTALL_DIR	<install_dir> (必須)。選択した Borland VisiBroker 製品ディレクトリのフルパス名。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows の場合、デフォルトのインストールディレクトリは C:/Borland/BDP です。</li> <li>Solaris の場合、デフォルトのインストールディレクトリは /opt/Borland/BDP です。</li> </ul>
INSTALL_TYPE	次のタイプが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VisiBroker Borland VisiBroker をインストールします。</li> </ul>
USER_SHORTCUTS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows (オプション) — 製品ショートカットディレクトリのフルパス名。Windows の場合、VisiBroker のデフォルトは ./Start Menu/Programs/BES VisiBroker Edition です。</li> <li>Solaris (必須) — Solaris では、値 /dev/null が必要です。</li> </ul>
JVM_JDK_HOME	(オプション)。ユーザーのアプリケーションコードをホストする VisiBroker コンポーネントに JDK パスを設定します。デフォルトは、VisiBroker に付属する JDK がインストールされる場所に設定されます。
OSAGENT_PORT	(オプション)。デフォルトは 14000 です。
INSTALL_VBCONSOLE	(オプション) VisiBroker ORB とサービスを管理するための GUI とツールをインストールします。デフォルトは YES です。
INSTALL_VISICORE	(オプション) VisiBroker for Java and C++ 開発ツールとサーバーコンポーネントをインストールします。デフォルトは YES です。
INSTALL_DOCS	(オプション)。オンラインマニュアル一式をインストールします。デフォルトは YES です。
INSTALL_EXAMPLES	(オプション)。Borland Enterprise Server のサンプルアプリケーションをインストールします。デフォルトは YES です。
VISI_SERVICES	<p>(オプション) INSTALL_TYPE が VisiBroker の場合は、購入したすべてのオプションの VisiBroker Extended Services をインストールします。値は、次のエントリをいくつか含むコンマ区切りリストです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>VisiNotify</li> <li>VisiSecure</li> <li>VisiTime</li> <li>VisiTransact</li> <li>VisiTelcoLog</li> </ul> <p>たとえば、VisiNotify と VisiTransact が付属する VisiBroker を購入した場合は、自動インストールの &lt;properties&gt; ファイルに VISI_SERVICES=VisiNotify,VisiTransact という行を入れて、追加のサービスをインストールします。</p> <p>各 Extended Service オプションについては、「<a href="#">Borland VisiBroker のインストール</a>」の手順 5 を参照してください。</p>
CONFIGURATION_SETUP	(オプション)。VisiBroker の設定例をインストールします。デフォルトは YES です。
VBROKER_SETUP	(オプション)。Windows のみ。システム変数 BES_LIC_DIR には <install_dir>/var が設定され、BES_LIC_DEFAULT_DIR には <install_dir>/license が設定されます。デフォルトは NO です。
VISICORE_FEATURES	{Java .NET} Visi for Java/C++、Visi for .NET、またはその両方のどの機能を取得するか。デフォルトは Visi for Java/C++ です。INSTALL_VISICORE=NO を指定した場合、これは無視されます。
VB_NET_MODE	{Development Client Server} Visi for .NET のライセンスモード。デフォルトは Development です。VISICORE_FEATURES に .NET が含まれない場合、これは無視されます。
VB_NET_FEATURES	{Tools Add-In} ツール、アドイン、またはその両方のどの機能をインストールするか。デフォルトはツールもアドインもインストールしません。Add-In を指定すると、ツールもインストールされます。VISICORE_FEATURES に .NET が含まれない場合、これは無視されます。



## Windows 用の自動インストールプロパティのサンプル

---

この例は、VisiBroker をデフォルト以外のエージェントポートにインストールし、VisiBroker システム変数を設定します。

```
INSTALLER_UI=silent
USER_INSTALL_DIR=c:/Borland/BDP
OSAGENT_PORT=14925
INSTALL_TYPE=VisiBroker
VBROKER_SETUP=YES
```

## Solaris 用の自動インストールプロパティのサンプル

---

この例は、VisiBroker をデフォルト以外のエージェントポートにインストールし、VisiBroker Extended Services をいくつかインストールします。

```
INSTALLER_UI=silent
USER_INSTALL_DIR=/opt/Borland/BDP
USER_SHORTCUTS=/dev/null
OSAGENT_PORT=14925
INSTALL_TYPE=VisiBroker
VISI_SERVICES=VisiNotify,VisiSecure,VisiTime,VisiTransact,VisiTelcoLog
```



# 索引

## 記号

... 省略符 4  
[] ブラケット 4  
| 縦線 4

## B

BES、インストール 10  
Borland VisiBroker の再インストール 26  
Borland VisiBroker、UNIX でのアンインストール 24  
Borland Web サイト 4, 5  
Borland 開発者サポート、連絡 4  
Borland テクニカルサポート、連絡 4

## C

cd コマンド 18  
CD、マウント 18

## J

Java 開発キット 17  
JDK 7, 8, 17  
    1.3.1、Windows コンピュータの場合 10  
    1.4.2  
        Linux コンピュータの場合 17  
        Solaris コンピュータの場合 17  
        UNIX コンピュータの場合 17  
        Windows コンピュータの場合 10  
Linux の必要条件 17  
Solaris の必要条件 17  
UNIX の必要条件 17  
Windows の必要条件 10  
    必要条件 8  
JRE の必要条件  
    Linux への自動インストール 27

## L

Linux  
    BES の自動インストール 27  
    インストールの準備 17, 18  
Linux プロパティファイル、VisiBroker の自動インストール 28

## P

PDF マニュアル 3

## S

Solaris  
    BES の自動インストール 27  
    インストールの準備 17  
Solaris への VisiBroker のインストール 17  
Solaris オペレーティングシステム 18  
Solaris プロパティファイル、VisiBroker の自動インストール 28

## U

uninstall コマンド 24  
UNIX  
    インストールの準備 17  
    インストールログ 21

テキストモード 21

## V

VisiBroker  
    Extended Services のインストール 11, 19  
    UNIX でのアンインストール 24  
    UNIX へのインストール 18  
    Windows でのアンインストール 16  
    インストール 17  
    インストールログ 13, 21  
    環境変数の設定 13, 22  
    登録 14, 22  
    ライセンス 8, 14, 22  
VisiBroker の概要 1  
VisiNotify  
    UNIX へのインストール 19  
    Windows へのインストール 11  
VisiSecure  
    UNIX へのインストール 19  
    Windows へのインストール 11  
VisiTelcoLog  
    UNIX へのインストール 19  
    Windows へのインストール 11  
VisiTime  
    UNIX へのインストール 19  
    Windows へのインストール 11  
VisiTransact  
    UNIX へのインストール 19  
    Windows へのインストール 11

## W

Web サイト  
    Borland ニュースグループ 5  
    ボーランド社の更新されたソフトウェア 5  
    ボーランド社のマニュアル 5  
Web ブラウザ 13, 21  
Windows  
    BES の自動インストールの起動 26  
    インストールログ 13  
Windows への VisiBroker のインストール 9  
Windows プロパティファイル、VisiBroker の自動インストール 28

## あ

アクセス特権 18  
アンインストール  
    UNIX に 24  
    Windows に 16

## い

インストール 10, 18  
    BES 10  
    GUI を使用しない 21  
    UNIX でのアンインストール 24  
    UNIX での準備 17  
    VisiBroker Extended Services 11, 19  
    VisiBroker 製品コンポーネント 11, 19  
    VisiBroker 設定例 11, 20  
    VisiBroker を Linux に 18  
    VisiBroker を UNIX に 18  
    VisiNotify 11, 19

VisiSecure 11, 19  
VisiTelcoLog 11, 19  
VisiTime 11, 19  
VisiTransact 11, 19  
Windows でのアンインストール 16  
Windows での準備 9  
  カスタム 11, 20  
  コマンドライン 25  
  再インストール 26  
  自動モード 25  
  必要条件 7  
  標準 11, 20  
  プラン 7  
  リモート 21  
インストールログ 13, 21

## お

オンラインヘルプトピック、アクセス 3  
オンラインヘルプ、アクセス 13

## か

開発者サポート、連絡 4  
概要 1  
環境変数  
  VisiBroker 13, 22  
  VisiBroker の設定 13, 22  
  設定値 13, 22

## き

記号  
  省略符 ... 4  
  縦線 | 4  
  ブラケット [] 4

## こ

コマンド  
  cd 18  
  uninstall 24  
  マウント 18  
コマンド、規約 4

## さ

サポート、連絡 4

## し

自動インストール 25  
  JDK 16  
  Linux 25  
  Linux 向けの JRE 27  
  Solaris 25  
  Solaris BES の起動 27  
  Solaris 用の VisiBroker プロパティファイル 28  
  UNIX 用のサンプルプロパティファイル 29  
  Windows 25  
  Windows での起動 26  
  Windows 用の VisiBroker プロパティファイル 28  
  Windows 用のサンプルプロパティファイル 29  
  概要 25  
  使用 26  
  テキストファイル 26  
  必要なディスクスペース 26  
  プロパティファイル 26

## せ

製品のダウンロード 7  
製品マニュアル、アクセス 13  
製品、Web からのダウンロード 17

## そ

ソフトウェアの更新 5

## て

テクニカルサポート、連絡 4

## と

登録ウィザード 14, 22  
登録、VisiBroker 14, 22

## に

ニュースグループ 5

## ひ

必要なディスクスペース 8  
必要なディスクスペース、自動インストール 26

## ふ

プロパティファイル、自動インストール 26, 28

## へ

ヘルプトピック、アクセス 3, 21  
ヘルプ、アクセス 13

## ま

マニュアル 2  
  .pdf 形式 3  
  Borland セキュリティガイド 2  
  PDF 21  
  VisiBroker for .NET 開発者ガイド 2  
  VisiBroker for C++ API リファレンス 2  
  VisiBroker for C++ 開発者ガイド 2  
  VisiBroker for Java 開発者ガイド 2  
  VisiBroker GateKeeper ガイド 3  
  VisiBroker VisiNotify ガイド 2  
  VisiBroker VisiTelcoLog ガイド 3  
  VisiBroker VisiTime ガイド 2  
  VisiBroker VisiTransact ガイド 2  
  VisiBroker インストールガイド 2  
  Web 5  
  Web での更新 3  
  使用されている表記規則のタイプ 4  
  使用されているプラットフォームの表記規則 4  
  表示 13, 21  
  ヘルプトピックの表示 3

## ら

ライセンス要件、Borland VisiBroker 8  
ライセンス、VisiBroker 8, 14, 22